



姉妹都市提携 60 周年記念

# 静岡県下田市 第2回

問合 秘書課秘書係 ☎内線 4003

今回は、下田市の担当者が「下田市と沼田市のつながり」を紹介します。

## 天狗以外のつながり

沼田市と下田市の交流は、昭和 41 年 5 月 7 日に迦葉山弥勒寺の天狗と下田市蓮台寺の開湯伝説における天狗とのつながりから姉妹都市提携を結び、さまざまな交流を生みながら、今年で 60 年を迎えました。

しかし、現代の私たちが交流を深める以前に、沼田市と下田市とのつながりがあったことをご存知でしょうか。

## 土岐家の一族が下田奉行を約 1 年務める

平成 11 年（1999）12 月 7 日発行の伊豆新聞に次のような見出しが載りました。

「**歴史的関係分かった**  
**沼田の領主一族が「津なみ塚」を建立**  
**両市長新たな史実判明喜ぶ**」

これは、下田市・稲田寺<sup>とうでんじ</sup>の石塔「津なみ塚」の由来が判明したという内容で、記事によると、「町会所日記」という史料の安政 2 年（1855）4 月の項に、「前下田奉行土岐様・当御奉行伊沢様御寄進之由二」と記されているのを下田市史編さん委員 佐々木忠夫氏（故人）が発見したというものでした。



伊豆新聞本社提供「平成 11 年 12 月 7 日 伊豆新聞」一面（抜粋）

「前下田奉行土岐様」とは、天保 4 年（1843）から約 1 年ほど下田奉行を務めた土岐丹波守頼旨<sup>とぎたんばのかみよりむね</sup>（以下、「頼旨」）のことで、沼田藩主であった土岐家の一族でした。頼旨は、老中・阿部正弘に重用され、下田奉行のほか、浦賀奉行、大目付、講武所総裁などを歴任し、安政 4 年（1857）には大目付兼海防掛として勘定奉行・川路聖謨<sup>かわじよしかた</sup>らと共にアメリカとの通商条約締結交渉に当たった人物です。

## 交流の歴史

昭和 39 年 4 月 10～12 日

第 1 回下田蓮台寺温泉まつり開催  
沼田市より迦葉山大天狗面が参加

昭和 40 年 7 月

沼田市、下田町（現下田市）の両議会において、都市提携について議決（沼田市：40. 7. 21 議決。下田町（現下田市）：40. 7. 27 議決）

昭和 41 年 5 月 7 日（姉妹都市提携のはじまり）

沼田市役所議場にて「姉妹都市締結書」に両首長が署名

平成 28 年 8 月 3～4 日（姉妹都市提携 50 周年）

下田市民号が沼田市を訪問（23 人）  
旧沼田貯蓄銀行東隣にて、ヒメシヤラの木を記念植樹

平成 28 年 11 月 22～23 日（姉妹都市提携 50 周年）

沼田市民号が下田市を訪問（32 人）  
市民文化会館にて、リンゴの木を記念植樹

令和 8 年 5 月 7 日

姉妹都市提携 60 年

## 両市をつなぐ「津なみ塚」

この石塔は、頼旨が下田奉行を退いたおよそ 10 年後の安政東海地震にて発生した大津波の犠牲者を弔うために建立されました。



下田まち遺産「稲田寺の津なみ塚」

それから約 170 年が経ち、こうした縁を大切に、両市の交流がますます盛んになることを願います。